

現 行	改 定	適 用
<p>平成 27 年度版</p> <p>北海道開発局 電気通信工事仕様書</p> <p>北海道開発局事業振興部技術管理課</p>	<p>平成 28 年度版</p> <p>北海道開発局 電気通信工事仕様書</p> <p>北海道開発局事業振興部技術管理課</p>	<p>年度の修正</p>

現 行					改 定					適 用		
品質管理基準及び規格値 【第3編 電気通信設備工事共通編】					品質管理基準及び規格値 【第3編 電気通信設備工事共通編】					項目削除		
章	節	条	枝番	頁	章	節	条	枝番	頁			
設備の耐震基準	設備の耐震据付基準	耐震施工		5-1	設備の耐震基準	設備の耐震据付基準	耐震施工		5-1			
共通設備工	配管配線工	電力ケーブル端末処理		5-2	共通設備工	配管配線工	電力ケーブル端末処理		5-2			
		電力ケーブル接続		5-3			電力ケーブル接続		5-3			
	通信配線工	通信ケーブル接続		5-3	通信配線工	通信ケーブル接続		5-3				
	光ケーブル敷設工	光ケーブル接続		5-3	分電盤設置工	自立型分電盤		5-4				
	分電盤設置工	分電盤		5-4	分電盤設置工	分電盤		5-4				
接地設置工	接地線		5-4	接地設置工	接地線		5-4					
設備の耐震基準 品質管理基準及び規格値					設備の耐震基準 品質管理基準及び規格値					項目削除		
編	章	節	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要			試験成績表等による確認
3	電気通信設備工事共通編	1	設備の耐震据付基準	その他	かぶり厚・埋設物測定	穿孔長が100mm以内電磁誘導法 穿孔長が100mmを超えるまたは重要構造物の場合電磁波レーダ法 なお、エックス線法を使用する場合は別途協議とする。	穿孔位置のコンクリートかぶり厚を満足し埋設配管や鉄筋干渉等がないこと	現場施工確認段階	かぶり厚・埋設物測定			穿孔位置が構造物の梁、柱と重なる場合に実施する。 施工面の除去が困難な仕上げ材等は穿孔長に加算する。 打設位置が梁上スラブ・柱・梁・耐力壁・橋脚等の重要構造物である場合は、電磁波レーダ法による測定を実施しなければならない。
			必須	穿孔径・深さの測定	ノギスによる測定		所定の穿孔径及び長を満足すること	現場施工確認段階	穿孔径・深さの測定	施工面の除去が困難な仕上げ材等は穿孔長に加算する		
				アンカーボルト締付けトルクの測定	トルクレンチによる締付けトルク測定	設計図書による		現場施工確認段階	アンカーボルト締付けトルクの測定	アンカーボルト施工作業手順書による		
				引張試験	引張試験	設計用引張荷重に等しい荷重		現場施工確認段階(全表)	引張試験			
共通設備工 品質管理基準及び規格値					共通設備工 品質管理基準及び規格値					項目削除		
編	章	節	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要			試験成績表等による確認
3	電気通信設備工事共通編	4	通信配線工	必須	絶縁抵抗試験	JIS-C-0704	主回路-大地間 60Vを超え660V以下 500V絶縁抵抗計にて 5MΩ以上 30Vを超え60V以下 250V絶縁抵抗計にて 5MΩ以上 30V以下 100V絶縁抵抗計にて 5MΩ以上	現場施工完了段階				○
			必須	接続損失測定	OTDR工法により、接続損失を測定する。	接続損失 JIS-C6844 融着接続損失：0.6dB/箇所以下 光ファイバ接続損失：0.7dB/両端以下 区間内における接続損失 融着接続点数(箇所)×コネクタ損失	現場施工完了段階					
			必須	伝送損失測定	挿入損失法により、施工区間全線の伝送損失を測定する。	設計図書による。		現場施工完了段階				
				クローゼット気密試験	クローゼットに石鹸水を含み、内部に規定の圧力を加え、漏れのないことを確認する。	漏れがないか確認する。		現場施工完了段階				